

第9回 街路樹研修会

—みんなでつくる未来の街路樹—

COVID-19の影響により中断されていた街路樹研修会を再開する運びとなりました。この間、街路樹を取り巻く環境はますます厳しいものになってきています。

気候変動や猛暑対策として、グリーンインフラ政策や都市景観の向上などに街路樹は様々な恩恵を与えてくれる存在です。しかし、近年、街路樹を取り巻く諸問題が多く取沙汰されるようになってきました。

予算削減の中で適切な維持管理ができない、落ち葉などのクレーム対応に追われる実態、樹木の機能と美観を損なうぶつ切り強剪定の横行、樹木周辺工事による樹体の損傷、損傷に伴う樹勢衰退や倒木リスクへの対策、大きく成長した街路樹の取り扱い、限られた専門員や専門家、など数多くの問題を抱えています。

今回の街路樹研修会では、これら多くの課題やその解決策について専門家からお話を頂き、持続可能な街路樹の育成管理のあり方について考える機会とします。

街路樹に関与するそれぞれの立場の皆様にも、未来につながる取り組みがなされる事を願い、この度の研修会を開催致します。

開催日 令和6年10月31日(木)

時間 13:00 ~ 17:00
(受付開始 12:30~)

会場及び
アクセス 大阪歴史博物館 4階講堂
地下鉄谷町線・中央線
谷町四丁目駅 2・9号出口

参加費 無料

参加方法 ‘こくちーず’でお申込ください(定員 250名)

<https://kokc.jp/e/492681c42602afcf40a63315e77665fd/>



主催: (特非)おおさか緑と樹木の診断協会、(一社)日本樹木医会大阪府支部、
(一社)街路樹診断協会関西支部

協力: (一社)日本樹木医会、(一社)日本樹木医会近畿地区協議会

後援: 大阪府、(一財)日本緑化センター、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会関西支部、
(一社)公園管理運営士会西日本支部

○プログラム

12:30~13:00

受付

13:00~17:00

研修

○道路緑化における現況と課題、その対応策について

講師：飯塚 康雄

国土交通省 国土技術政策総合研究所

社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室室長

○大阪における街路樹の現況と課題

講師：土橋 一也

大阪府茨木土木事務所 維持保全課 主査

○関西の街路樹整備・管理の適正化において

講師：川口 将武

大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 教授

17:30~19:30

交流会

講師の先生方を交えてお腹も心も満たされる交流会を開催します(会費3,000円)

※造園 CPD プログラム:3.0 単位、樹木医 CPD 単位申請中

○講師紹介



飯塚 康雄

国土交通省 国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 室長

街路樹管理を取り巻く課題は複雑化多様化しています。そして、近年、街路樹本数が全国的に減少している現況を報告するとともに、街路樹を維持管理するうえで発生している課題とその対応策について事例を踏まえて紹介頂きます。

共同溝の埋設など道路構造の変化、大きくなりすぎた街路樹、傷んで危険な存在となっている街路樹、これらの処置の在り方。管理予算が縮小しているなか、どのように対処すれば樹木がもたらす便益を効率的に発揮できるのかを交えてお話頂きます。



土橋 一也

大阪府茨木土木事務所 維持保全課 主査

一部の市民によるクレームの実態とクレームへの対処方法は、落ち葉対策としての強剪定の問題や、受託業者の違いによる品質のばらつき。樹木撤去と更新の課題。樹木管理台帳の定期的な更新の方法は。樹木管理者には悩みどころは多くありますが、未来により良い街路樹を残すために、管理者目線での課題と考えられる対策案を紹介頂きます。



川口 将武

大阪産業大学 デザイン工学部
建築・環境デザイン学科 教授

街路樹マスタープランの計画を策定している自治体は少なく、限られたガイドラインやマニュアルに沿って維持管理をしているところがほとんどです。街路樹の計画・整備更新・管理のあり方を自治体が模索している中、諸外国で活用されているソフトウェアアプリケーションを用いた吹田市での調査研究や、街路樹による地域価値向上の事例調査等から、関西の街路樹管理の適正化に向けての問題提起と解決のヒントになるお話を頂きます。